

# わが青春つきるとも



—伊藤千代子の生涯—

上映運動北海道実行委員会ニュース

2023年11月1日 NO 11

〒065-0018 札幌市東区北18条東15丁目3-6 ブランノワールF101号

☎011-374-8280 FAX011-374-8281

新婦人名寄支部創立60年記念事業

名寄大学を会場に上映会

♡♡♡これを力にもっと上映会をやりたい！♡



10月22日名寄市で、新日本婦人の会名寄支部創立60年記念事業として上映会が開催され、名寄大学を会場に61人が鑑賞しました。「あの様な時代があったから、今日があることが解った。」「良い映画で感動した。もっと多くの人に見てもらいたい。」「治安維持法なんて初めて知った。」等の感想が出されました。

隣町の美深町からも観に来てくれました。

財政的にも成功し、これを力にもっと上映会をやりたいとの感想が寄せられています。



鑑賞者が実行委員に！開拓者精神  
で意思統一し、壮瞥町で上映会

—西胆振実行委員会—

壮瞥上映会のお知らせ

実行委員会 鑑賞者会

わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—



○ 10月29日（日）午後2時 開演（午後3時開演） 映画 午後4時30分

○ 壮瞥町地域交流センター（壮瞥町 多目的ホール）

○ 鑑賞料 1,000円 当日現金です

主催：伊藤千代子の生涯実行委員会、西胆振実行委員会

後援：壮瞥町実行委員会、北海道新聞、14社、室蘭民報、西胆振町

問い合わせ：壮瞥町会 011-343-3421

10月29日は壮瞥町での上映会。壮瞥町の住民10人以上が参加し、伊達市や近隣自治体も含めて41人が参加しました。掲げていた35名の目標を大きく超える参加者に、実行委員みんなが喜び合いました。

西胆振実行委員会では、5自治体の担当で、これまでに3自治体で上映会を開催してきました。「全道の自治体で上映会を」という道実行委員会の方針を受け、つながりのない自治体での上映会をどうするか悩んでいたところ、伊達市の上映会に壮瞥町から3人が参加してくれたことを思い出し、この3人に電話で「実行委員として手伝ってほしい」とお願いし、1人が引き受けてくれました。さらに、大滝地域でも引き受けてくれる人がいて、この人たちの日程に合わせて、実行委員会を開き、壮瞥町での上映会を開催に向けて開拓者精神で頑張ろうと意思統一できました。9・10月の短期間の取り組みで、ポスターは30枚を実行委員が手分けして張り出し、チラシは北海道新聞、室蘭民報の各販売店をまわり、一斉に2,200枚を新聞折り込みしました。その他に、手作りの上映会のお知らせチラシを300枚以上作成し、各団体の行事に折り込みをお願いしたり、会議で手渡ししたりと宣伝に力を入れました。参加者の目標は、1口の債権で200名まで鑑賞可能（超過分は1人に付き600円を映画会社に支払う）なので、これまでの上映会での参加者を差し引き、残り35人を目標にしました。上映会当日は、参加者が次々と受付に来て41人となり、実行委員もみんなびっくり。

しかし、上映開始から1時間ほど過ぎたところで画面、音声が細かく途切れはじめ、画像不良となり、調整しても改善しないため、残念ながら上映中止となりました。参加者にお詫びし、返金しました。

今後の実行委員会で、対応と再上映などについて話し合います。壮瞥町の取組は上映中止となったことは非常に残念でしたが、鑑賞者となつたり、その力を借りて、実行委員会の団結を深めた取組でした。

これは、北海道の今後の上映運動にとって新しいスタイルを築いたと言えます。全自治体での上映会目指して、近隣の自治体で連鎖的に上映会を計画し、早期に全道1万人の鑑賞者を超えましょう。

# 全道の 1/4(45 自治体)で上映会開催

## 全道累計 6,772 人が鑑賞！

### 鑑賞者をつなぎ、力を借りて、近隣自治体で連鎖的に上映会を計画しよう！

全自治体での上映会をめざして、現在までに 45 自治体で上映会が開催・計画されており、これは全道自治体の 4 分の 1、25%にあたります。目標までは大きな距離を残していますが、全道のみなさんのご協力で、一定の目安となる到達まで進んできました。皆様のご奮闘に心から敬意を表します。ありがとうございます。

各実行委員会での知恵を出し合い、つながりを広げる努力の中で、壮瞥町の経験のように、他地域の鑑賞者に働きかけ、実行委員になってもらい、その自治体での上映会を開催するという、新しいスタイルを築きあげて来ています。

また、兵庫県の但馬地域では、10月9日から10月22日にかけて5カ所で連続的に上映会が開催され、試写会を含めて166人が参加しています。JCP 但馬地区委員会の全面的な協力のもと、とりあえず議員のいる地域の会場を設定し、チラシを作成し宣伝して次々と上映会を開催しています。このように、上映債権不要のきめ細かい上映運動は、まだ映画を観ていない人の鑑賞チャンスを広げると共に、全自治体での上映をめざす北海道にとっても「画期的」な教訓です。地域実行委員会が、壮瞥町の経験も生かして、近隣自治体の鑑賞者をつなぎながら、担当自治体全体に視野を広げ、連鎖的に上映会を計画できる可能性を示しています。

札幌市 10 区でも、連続的な開催計画について話し合われています。道実行委員会では、プロジェクター、スクリーンなどの上映機材もそろえ、皆さんのご活用を待っています。

地域の会館、コミュニティセンターなどの会場で次々と上映会を計画していきましょう。

### 第 3 次上映運動（2023 年 5 月～12 月）上映計画と鑑賞者数

実行委員会、団体等	上映月日	会場	鑑賞者数
札幌手稲区	2月19日(日)	手稲区民センター	64
当別町	3月21日(祝)	当別町レンガ倉庫	70
守大助さんを守る札幌の会	7月2日(日)	高教組センター	18
北見市	7月23日(日)	北見市民会館	20
国賠同盟北見支部	7月28日(金)	丸瀬布コミュニティセンター	10
遠軽町	7月30日(日)	遠軽町メトロプラザ	62
十勝(大樹町)	10月21日(土)	大樹町生涯学習センター	15
名寄市	10月22日(日)	名寄大学	61
西胆振(壮瞥町)	10月29日(日)	壮瞥町地域交流センター	41
十勝(池田町)	11月5日(日)	池田町田園ホール 13:30～ 連絡先 酒井省三 0155-42-3387	
国民救援会石狩支部	11月5日(日)	花川南コミュニティセンター-10:30～連絡先 村井勇太 080-6090-2038	
道南(七飯町)	12月9日(土)	七飯町文化センター-18時～ 連絡先 牧野秀夫 080-4040-2759	
第 1 次上映運動(2022 年 4 月 15 日～6 月 30 日)			3,455
第 2 次上映運動(2022 年 7 月～12 月)			2,956
第 1 次から第 3 次 2023 年 11 月 1 日現在 全道累計			6,772